

吉田城 豊橋市今橋町 3

戦国時代初期において三河支配の重要拠点のひとつとして、松平氏と今川氏の間で争奪戦が繰り広げられた城です。1564年には松平時代の家康が、今川方の吉田城代小原鎮実を攻め吉田城を攻略し城主に酒井忠次をおきました。酒井忠次は吉田城を改築し、その後、羽柴秀吉配下にあった池田輝政（照政）が吉田城の城主となり大城郭を改造しています。世界遺産となっている姫路城を池田輝政が築く前は吉田城の城主だったのです。歴史に残る有名人たちが吉田城の城主だったということは、それだけ吉田城が戦乱の要であったということが言えます。(説明版、パンフ)



櫓にある標柱



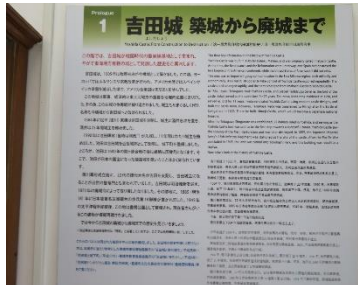
本丸に至る大手門の石垣



石垣は濠で囲まれている



黒鉄櫓



櫓の中にある説明版



本丸の背後は川



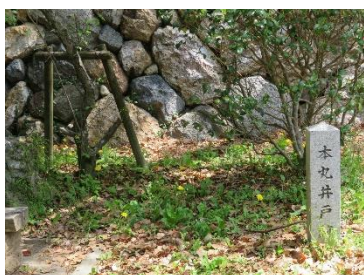
黒鉄櫓から本丸を見る



武器所跡



北御多門跡



本丸の井戸跡



二の丸



空堀の高低差はかなりある